

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

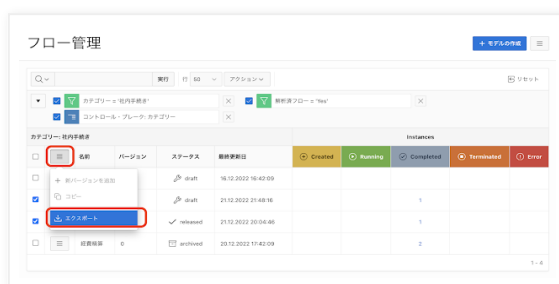
2022年1月28日 金曜日

## Flows for APEXによる経費精算アプリの作成(5) - フロー・モデルのエクスポート

作成したフロー・ダイアグラムをファイルにエクスポートすることができます。特定のバージョンのフロー・モデルを開き、右上のハンバーガー・メニューからエクスポートを実行します。



またはフロー・モデルの一覧よりエクスポートします。こちらのメニューからは、選択したファイルをまとめてZIP形式でダウンロードできます。



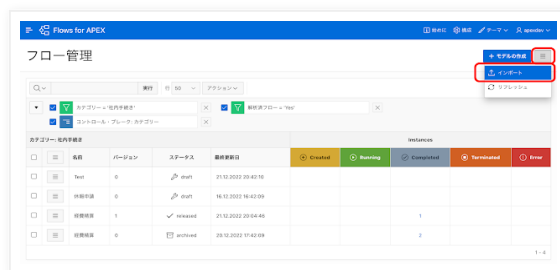
エクスポートするファイルの形式として、**BPMNファイル**と**SQLスクリプト**のどちらかを選択します。



単一のフロー・ダイアグラムをダウンロードする場合は、**バージョンを含む**、**ステータスを含む**、**カテゴリを含める**、**最終変更日を含む**を指定できます。これをONにしたときの効果ですが、エク

スポーツされる**ファイル名にそれらの情報が付加される**のみで、**エクスポートされるファイルの内容に違いはありません**。

エクスポートされたBPMNファイルは、**フロー管理**の画面より**インポート**できます。



Flows for APEXからエクスポートされたファイルをインポートすることが推奨されています。



エクスポートされたSQLスクリプトは最初にXML形式のBPMNのフロー・ダイアグラムの記述をデータベースに保存し、その後、フロー・モデルを作成します。以下のプロシージャが実行されています。

```
flow_bpmn_parser_pkg.upload_and_parse(  
  pi_dgrm_name => '経費精算',  
  pi_dgrm_version => '1',  
  pi_dgrm_category => '社内手続き',  
  pi_dgrm_content => l_dgrm_content  
);
```

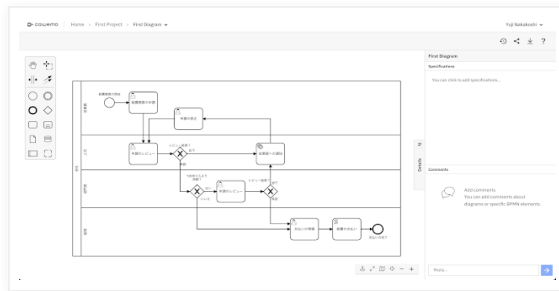
エクスポート時のカテゴリ、フロー・モデルの名前、バージョンで、フロー・モデルが登録されます。引数**pi\_dgrm\_status**の指定がないのでインポートされたフロー・モデルのステータスは常に**draft**になります。インポートする際にカテゴリ、フロー・モデル、バージョンを変更する場合は、ファイルの内容を変更しておく必要があります。特にバージョンについては0に変更しておくとういケースが多いでしょう。出力されたSQLに含まれるプロシージャでは引数**pi\_force\_overwrite**の指定がないため、上書きは行いません。上書きをする場合は、**pi\_force\_overwrite**に**true**を渡します。

エクスポートされたSQLファイルのインポートは、通常のSQLスクリプトと同様に**SQLワークショップ**の**SQLスクリプト**の画面を開いて、**アップロード**した後に実行します。



BPMN（XML形式）でダウンロードしたファイルは、他のツールにインポートしてBPMNの図として表示できます。

CAWEMOの無料サービスを使って、Flows for APEXからエクスポートしたBPMNダイアグラムを表示させてみました。結果は以下になります。



CAWEMOは元々BPMN.ioを組み込んでいるため、Flows for APEXと同じ表示になっているはずです。ただし、Flows for APEXでは、他のツールで作成したフロー・ダイアグラムを取り込むことは推奨していません。

続く

Yuji N. 時刻: 13:05

共有

<

ホーム

>

ウェブバージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.